

ICカードはどのような用途で、どのような装置なのですか？

Q：ICカードが使用できる装置があるそうですが、マニュアルに解説されていないようです。どのような装置で、どのような利用方法があるか教えてください。

特別な装置は必要ありません。FM TOWNSシリーズでそのまま使えます。

A：FM Notebookなどで提供されているICメモリカードをFM TOWNS本体の上部にあるICメモリカードスロットに装着することで、FM Notebookで作成したデータ（ファイル）交換ができます。

FM TOWNSシリーズにてICメモリカードを使用なさる場合は、「FM TOWNSソフトウェアディクショナリ」のP337を参照しながら環境設定を行ってください。また、ハードディスクにて運用される方はハードディスクインストール時に「ICメモリカードを使用する」を選択し、インストールを行ってください。

ICメモリカードの初期化は、通常の「ディスク初期化」では行えませんのでご注意ください。行う際には「TICMFMT」コマンドを使用します。「TICMFMT」コマンドの使用にあたっては、ICメモリカード用デバイスドライバ（TICM.SYS）をシステムに登録しなければなりません。このコマンドはTown s OSのコマンドモード上でのみ使用が可能です。Town s MENUやMS-DOS™では実行できませんのでご注意ください。

「TIC FMT」コマンド書式

TICMFMT [<ドライブ名> </Sm>]
m：ICメモリカードの容量（KByte）

<ドライブ名>はICメモリカードデバイスドライバ登録時に割り当てられたドライブ名を指定します。
</Sm>はICメモリカードの容量（KByte）を指定します。指定するサイズは、16KByteから26624KByteまで指定できますが、ご使用になるICメモリカードに書かれている容量を正しく指定してください。

（注意）ICメモリカードとして登録されたドライブ以外のドライブ名を指定するとエラー「ドライブの指定が違います」となります。

ICメモリカードの使用方法についての詳細は、Town s システムソフトのCD-ROMに入っているREADME.DOCの中に記載されています。ご覧いただきますようお願いいたします。

ICメモリカードは主にFM Notebookとのデータ連携を行うために使う機能です。例えばFM Notebookでつくったデータを読み込んだり、FM-OASYSの文書をFM TOWNSで使ったりすることが可能になります。

（FM-OASYSでICメモリカード使用される場合は、FM-OASYS V1.0L40が必要です。）

FM TOWNSに関するご質問をお寄せください。お寄せいただいたご質問の中から「ひとくちアドバイス」で採用させていただいた方については、他では手に入らないFM TOWNSオリジナルグッズを差し上げます。ご質問の送り先はNIFTYか葉書で「編集者」宛にお願いいたします。

発行日：1992年4月3日
編集者：富士通株式会社 パソコンシステム統括部 FM TOWNSシステム部 第1システム課
〒144/東京都大田区新蒲田1-17-25 情報処理システムラボラトリ
NIFTY-Serve. ID = NAC02031 林
次号発行日：1992年4月17日